

別冊

教員アンケート調査報告書

令和5年3月

西東京市教育委員会

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	1
	(1) 回答者属性	2
	(2) 教育や学習に関する取組について	4
	(3) 職場環境について	25
	※調査票	33

I 調査の概要

1 調査の目的

次期「西東京市教育計画（計画期間：令和6年度～令和10年度）」を策定するにあたって、市内の教職員の教育に関する考えや意見を聞き、調査結果を計画策定を進める上での基礎資料として活用するために調査を実施します。

2 調査対象

教員調査：市内の教職員

3 調査期間

令和4年12月12日（月）から令和5年1月11日（水）まで

4 調査方法

教員調査：学校を通じて配布・回収及びインターネット回答

5 回収状況

	配布数	有効回答数	有効回答率
教員調査	812通	639通	78.7%

6 調査結果の表示方法

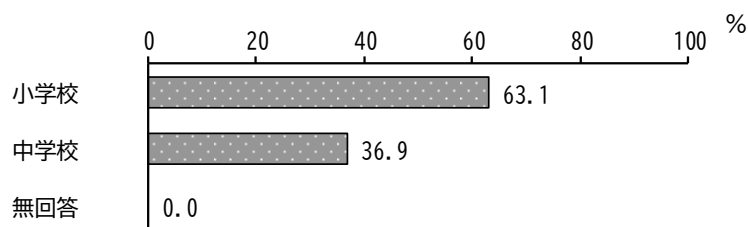
- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（％）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを■で網かけをしています。（無回答を除く）
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。

(1) 回答者属性

問1 勤務先はどちらですか。(○は1つ)

「小学校」の割合が63.1%、「中学校」の割合が36.9%となっています。

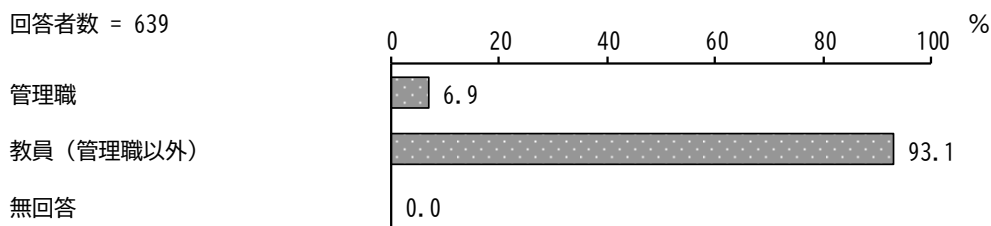
回答者数 = 639



問2 職種を教えてください。(○は1つ)

「管理職」の割合が6.9%、「教員（管理職以外）」の割合が93.1%となっています。

回答者数 = 639



【勤務先別】

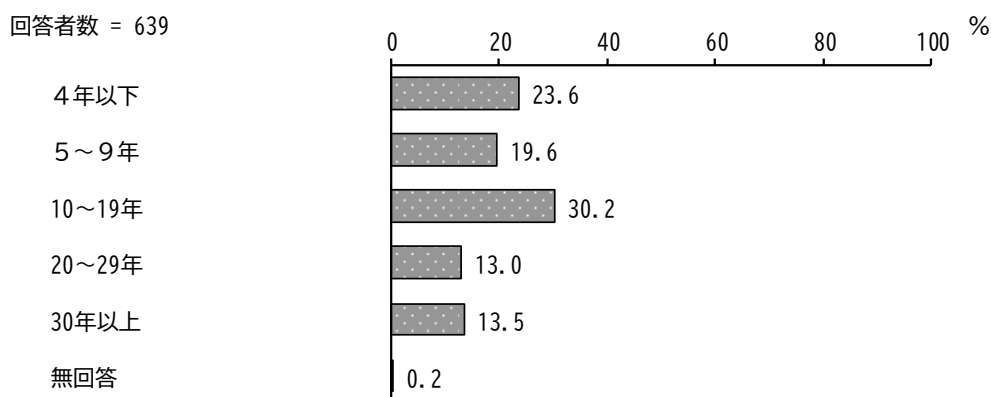
勤務先別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	管理職	教員 (管理職以外)	無回答
全 体	639	6.9	93.1	—
小学校	403	6.9	93.1	—
中学校	236	6.8	93.2	—

問3 経験年数を教えてください。(〇は1つ)

「10～19年」の割合が30.2%と最も高く、次いで「4年以下」の割合が23.6%、「5～9年」の割合が19.6%となっています。



【勤務先別】

勤務先別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

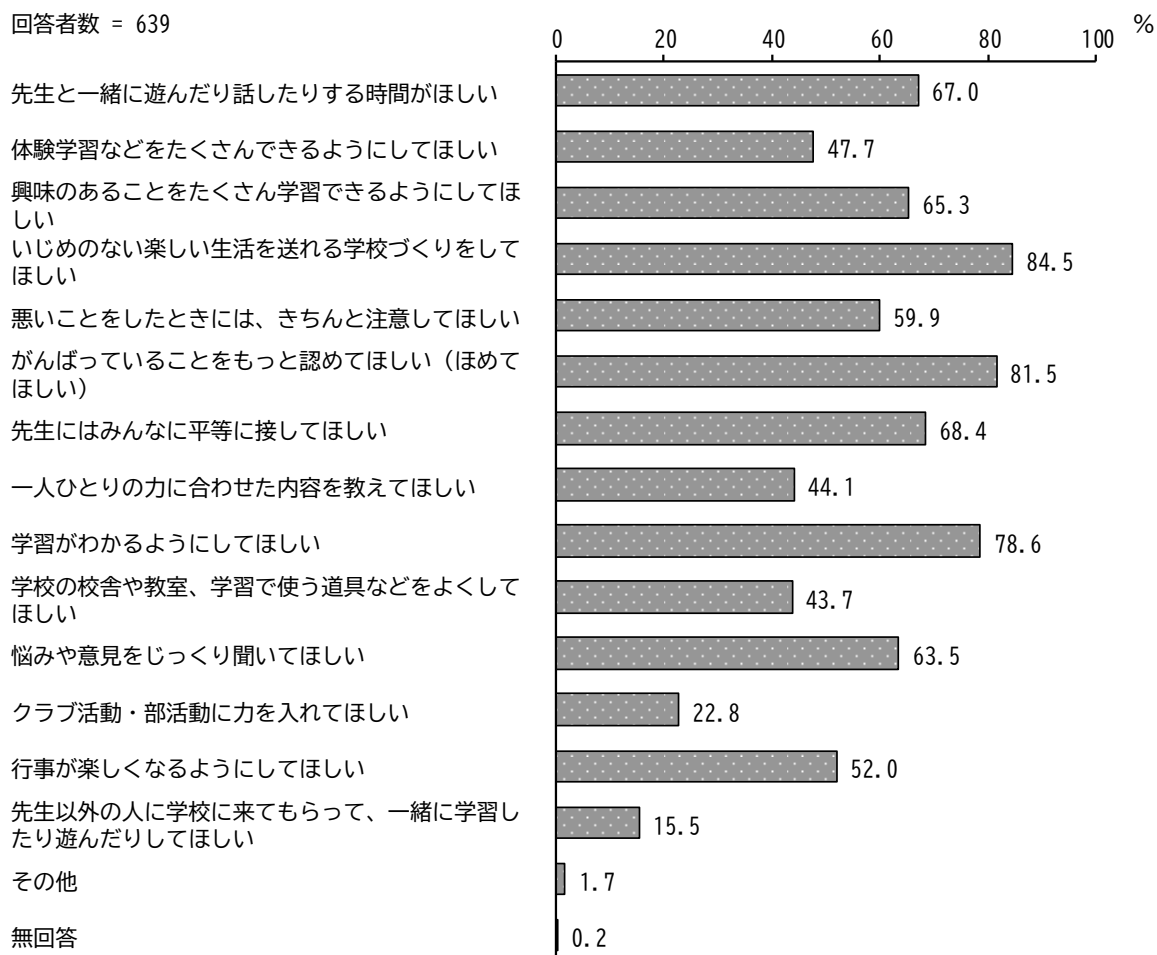
区分	回答者数 (件)	4年 以下	5 ～ 9年	10 ～ 19年	20 ～ 29年	30年 以上	無 回 答
全 体	639	23.6	19.6	30.2	13.0	13.5	0.2
小学校	403	23.1	21.1	31.8	12.9	11.2	—
中学校	236	24.6	16.9	27.5	13.1	17.4	0.4

(2) 教育や学習に関する取組について

問4 子どもたちが学校や先生に望むことは何だと思いますか。(〇はいくつでも)

「いじめのない楽しい生活を送れる学校づくりをしてほしい」の割合が84.5%と最も高く、次いで「がんばっていることをもっと認めてほしい(ほめてほしい)」の割合が81.5%、「学習がわかるようにしてほしい」の割合が78.6%となっています。

回答者数 = 639



【勤務先別】

勤務先別にみると、「中学校」で「クラブ活動・部活動に力を入れてほしい」「行事が楽しくなるようにしてほしい」の割合が、「小学校」で「先生と一緒に遊んだり話したりする時間がほしい」の割合が高くなっています。

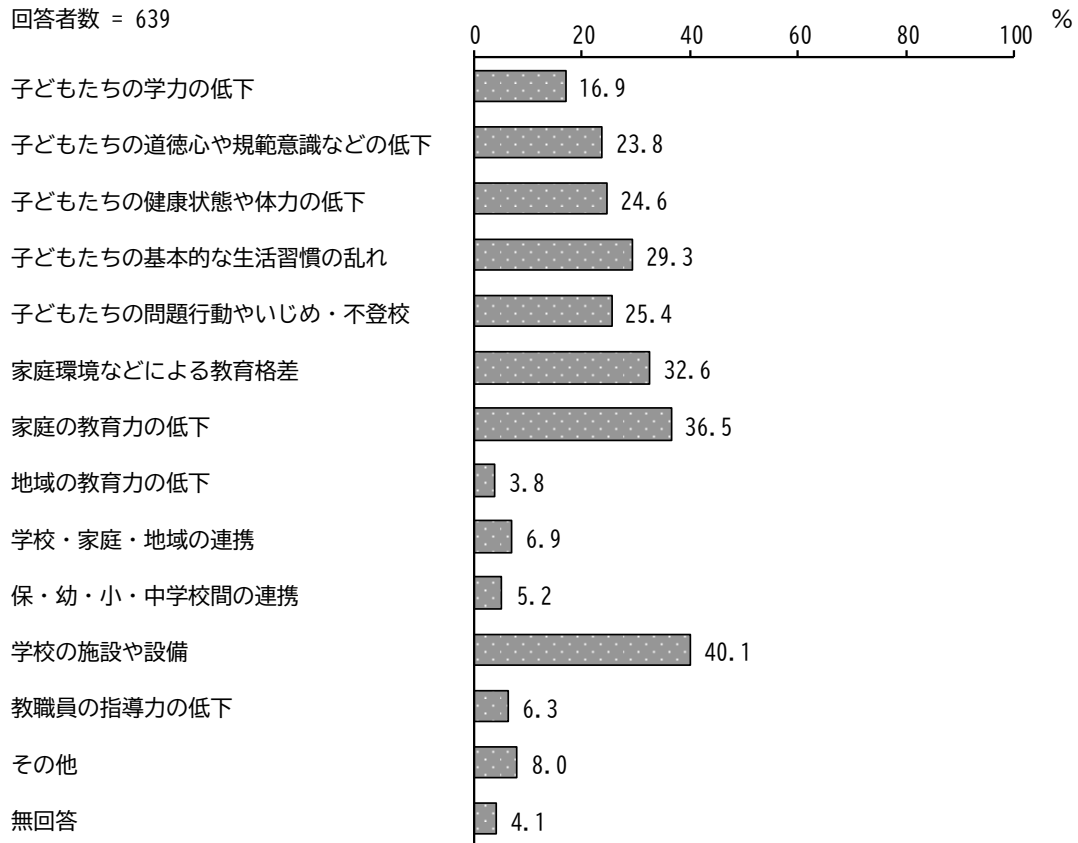
単位：%

区分	回答者数(件)	先生と一緒に遊んだり話したりする時間がほしい	体験学習などをたくさんできるようにしてほしい	興味のあることをたくさん学習できるようにしてほしい	いじめのない楽しい生活を送れる学校づくりをしてほしい	悪いことをしたときには、きちんと注意してほしい	がんばっていることをもつと認めてほしい(ほめてほしい)	先生にはみんなに平等に接してほしい	一人ひとりの力に合わせた内容を教えてほしい	学習がわかるようにしてほしい	学校の校舎や教室、学習で使う道具などをよくしてほしい	悩みや意見をじっくり聞いてほしい	クラブ活動・部活動に力を入れてほしい	行事が楽しくなるようにしてほしい	先生以外の人に学校に来てもらって、一緒に学習したり遊んだりしてほしい	その他	無回答
全体	639	67.0	47.7	65.3	84.5	59.9	81.5	68.4	44.1	78.6	43.7	63.5	22.8	52.0	15.5	1.7	0.2
小学校	403	80.1	53.6	65.8	83.6	64.3	81.6	66.3	42.9	78.9	41.2	66.7	13.9	45.9	17.1	2.0	0.2
中学校	236	44.5	37.7	64.4	86.0	52.5	81.4	72.0	46.2	78.0	47.9	58.1	38.1	62.3	12.7	1.3	—

問5 西東京市の子どもたちや学校教育の現場で課題だと感じていることは何ですか。
(〇は3つまで)

「学校の施設や設備」の割合が40.1%と最も高く、次いで「家庭の教育力の低下」の割合が36.5%、「家庭環境などによる教育格差」の割合が32.6%となっています。

回答者数 = 639



【勤務先別】

勤務先別にみると、「中学校」で「子どもたちの問題行動やいじめ・不登校」「学校の施設や設備」の割合が、「小学校」で「子どもたちの道徳心や規範意識などの低下」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	子どもたちの学力の低下	子どもたちの道徳心や規範意識などの低下	子どもたちの健康状態や体力の低下	子どもたちの基本的な生活習慣の乱れ	子どもたちの問題行動やいじめ・不登校	家庭環境などによる教育格差	家庭の教育力の低下	地域の教育力の低下	学校・家庭・地域の連携	保・幼・小・中学校間の連携	学校の施設や設備	教職員の指導力の低下	その他	無回答
全体	639	16.9	23.8	24.6	29.3	25.4	32.6	36.5	3.8	6.9	5.2	40.1	6.3	8.0	4.1
小学校	403	16.9	29.8	25.3	32.5	20.3	31.8	37.2	3.2	6.7	5.2	35.7	5.7	8.4	3.7
中学校	236	16.9	13.6	23.3	23.7	33.9	33.9	35.2	4.7	7.2	5.1	47.5	7.2	7.2	4.7

【職種別】

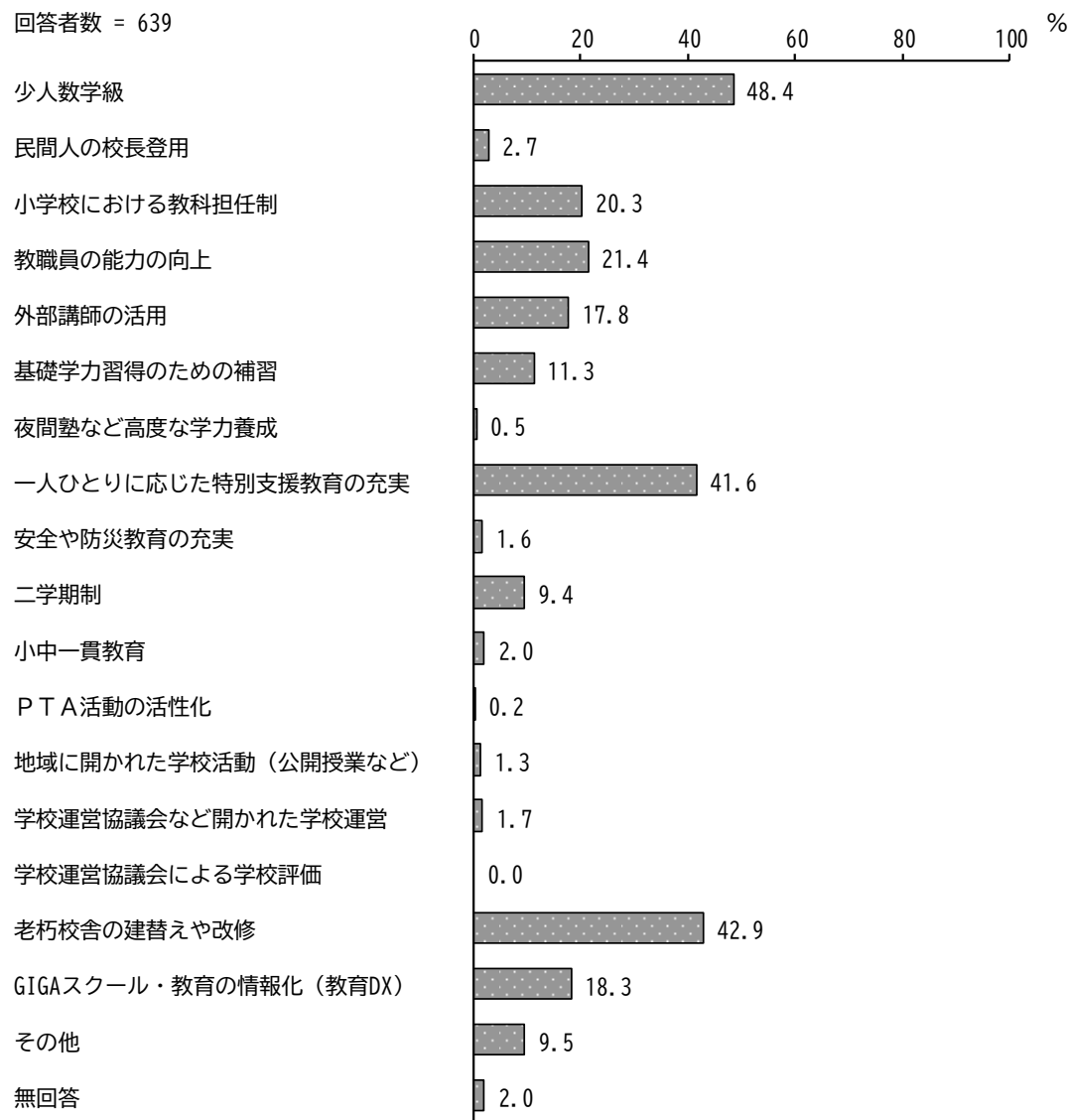
職種別にみると、「管理職」で「家庭の教育力の低下」「子どもたちの問題行動やいじめ・不登校」「家庭環境などによる教育格差」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	子どもたちの学力の低下	子どもたちの道徳心や規範意識などの低下	子どもたちの健康状態や体力の低下	子どもたちの基本的な生活習慣の乱れ	子どもたちの問題行動やいじめ・不登校	家庭環境などによる教育格差	家庭の教育力の低下	地域の教育力の低下	学校・家庭・地域の連携	保・幼・小・中学校間の連携	学校の施設や設備	教職員の指導力の低下	その他	無回答
全体	639	16.9	23.8	24.6	29.3	25.4	32.6	36.5	3.8	6.9	5.2	40.1	6.3	8.0	4.1
管理職	44	6.8	20.5	27.3	27.3	31.8	38.6	43.2	6.8	11.4	—	31.8	13.6	9.1	6.8
教員(管理職以外)	595	17.6	24.0	24.4	29.4	24.9	32.1	36.0	3.5	6.6	5.5	40.7	5.7	7.9	3.9

問6 今後、西東京市の公立学校教育で特に重点をおいて取り組む必要があるものは、
どれですか。(〇は3つまで)

「少人数学級」の割合が48.4%と最も高く、次いで「老朽校舎の建替えや改修」の割合が42.9%、
「一人ひとりに応じた特別支援教育の充実」の割合が41.6%となっています。



【勤務先別】

勤務先別にみると、「中学校」で「老朽校舎の建替えや改修」の割合が、「小学校」で「小学校における教科担任制」「少人数学級」の割合が高くなっています。

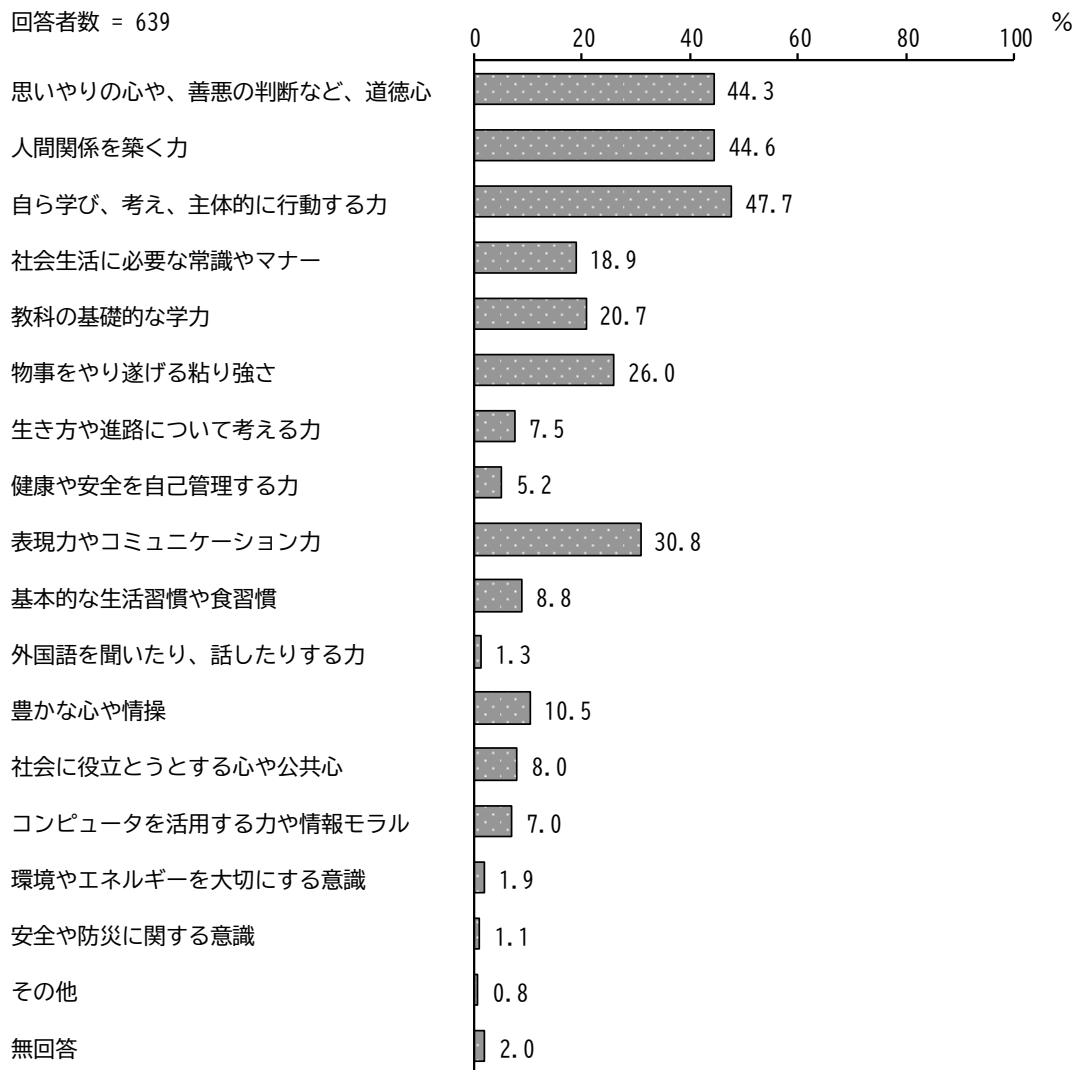
単位：％

区分	回答者数(件)	少人数学級	民間人の校長登用	小学校における教科担任制	上 教職員の能力の向	外部講師の活用	基礎学力習得のための補習	夜間塾など高度な学力養成	一人ひとりに応じた特別支援教育の充実	安全や防災教育の充実
全 体	639	48.4	2.7	20.3	21.4	17.8	11.3	0.5	41.6	1.6
小学校	403	54.3	2.0	27.0	21.6	20.3	8.4	—	44.4	2.0
中学校	236	38.1	3.8	8.9	21.2	13.6	16.1	1.3	36.9	0.8

区分	二学期制	小中一貫教育	PTA活動の活性化	地域に開かれた学校活動(公開授業など)	学校運営協議会など開かれた学校運営	学校運営協議会による学校評価	老朽校舎の建替えや改修	E/Sスクール・教育の情報化(教育DC)	その他	無回答
全 体	9.4	2.0	0.2	1.3	1.7	—	42.9	18.3	9.5	2.0
小学校	13.2	2.2	—	0.5	1.0	—	35.7	17.1	9.4	1.5
中学校	3.0	1.7	0.4	2.5	3.0	—	55.1	20.3	9.7	3.0

問7 西東京市の学校教育で子どもに教えることとして、重要だと思うことは何ですか。(〇は3つまで)

「自ら学び、考え、主体的に行動する力」の割合が47.7%と最も高く、次いで「人間関係を築く力」の割合が44.6%、「思いやりの心や、善悪の判断など、道徳心」の割合が44.3%となっています。



【勤務先別】

勤務先別にみると、大きな差はみられません。

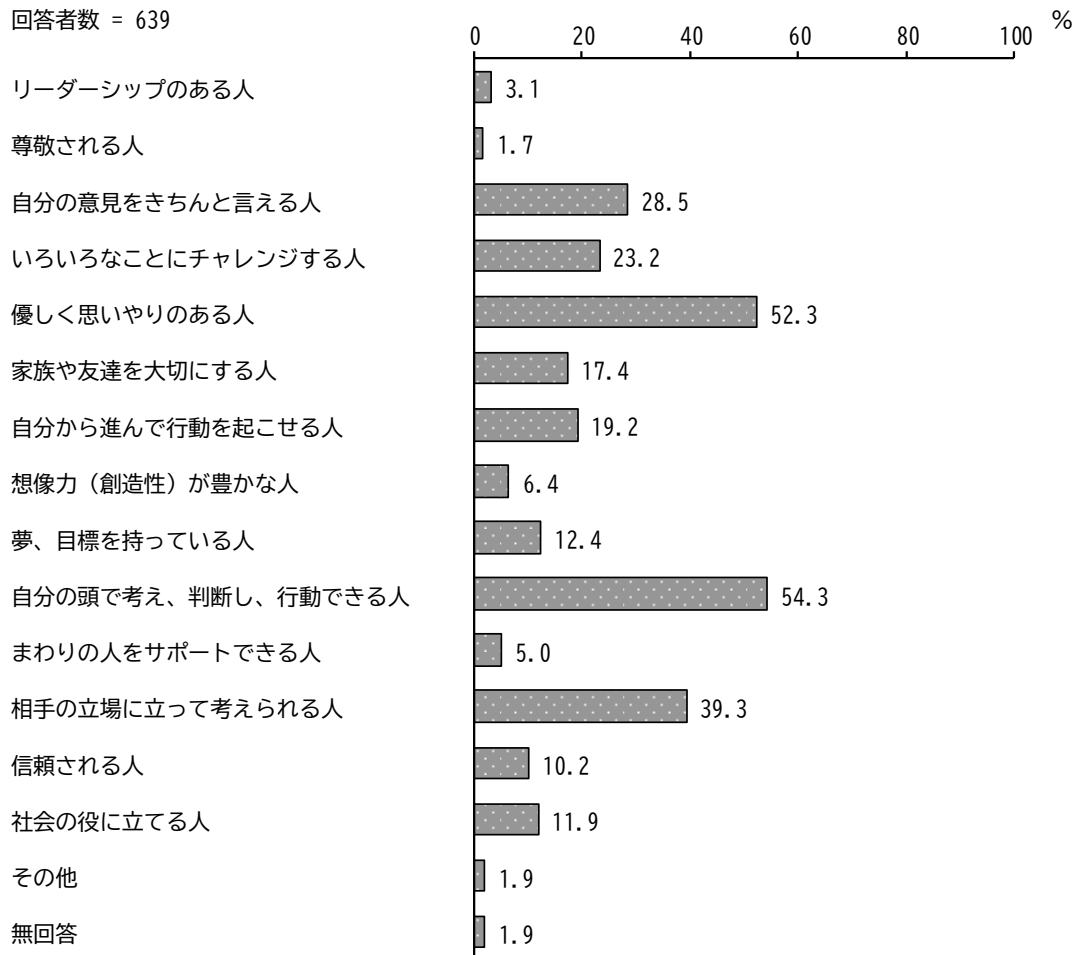
単位：%

区分	回答者数(件)	思いやりの心や、善悪の判断など、道徳心	人間関係を築く力	自ら学び、考え、主体的に行動する力	社会生活に必要な常識やマナー	教科の基礎的な学力	物事をやり遂げる粘り強さ	生き方や進路について考える力	健康や安全を自己管理する力	表現力やコミュニケーション力
全体	639	44.3	44.6	47.7	18.9	20.7	26.0	7.5	5.2	30.8
小学校	403	48.4	44.7	49.1	19.6	20.8	23.8	4.7	6.0	32.5
中学校	236	37.3	44.5	45.3	17.8	20.3	29.7	12.3	3.8	28.0

区分	基本的な生活習慣や食習慣	外国語を聞いたり、話したりする力	豊かな心や情操	社会に役立つ心や公共心	コンピュータを活用する力や情報モラル	環境やエネルギーを大切にすること	安全や防災に関する意識	その他	無回答
全体	8.8	1.3	10.5	8.0	7.0	1.9	1.1	0.8	2.0
小学校	8.2	0.7	11.7	8.2	6.0	1.7	1.7	0.7	1.5
中学校	9.7	2.1	8.5	7.6	8.9	2.1	—	0.8	3.0

問8 西東京市の子どもたちに、将来どのような人になってもらいたいと思いますか。
(〇は3つまで)

「自分の頭で考え、判断し、行動できる人」の割合が54.3%と最も高く、次いで「優しく思いやりのある人」の割合が52.3%、「相手の立場に立って考えられる人」の割合が39.3%となっています。



【勤務先別】

勤務先別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

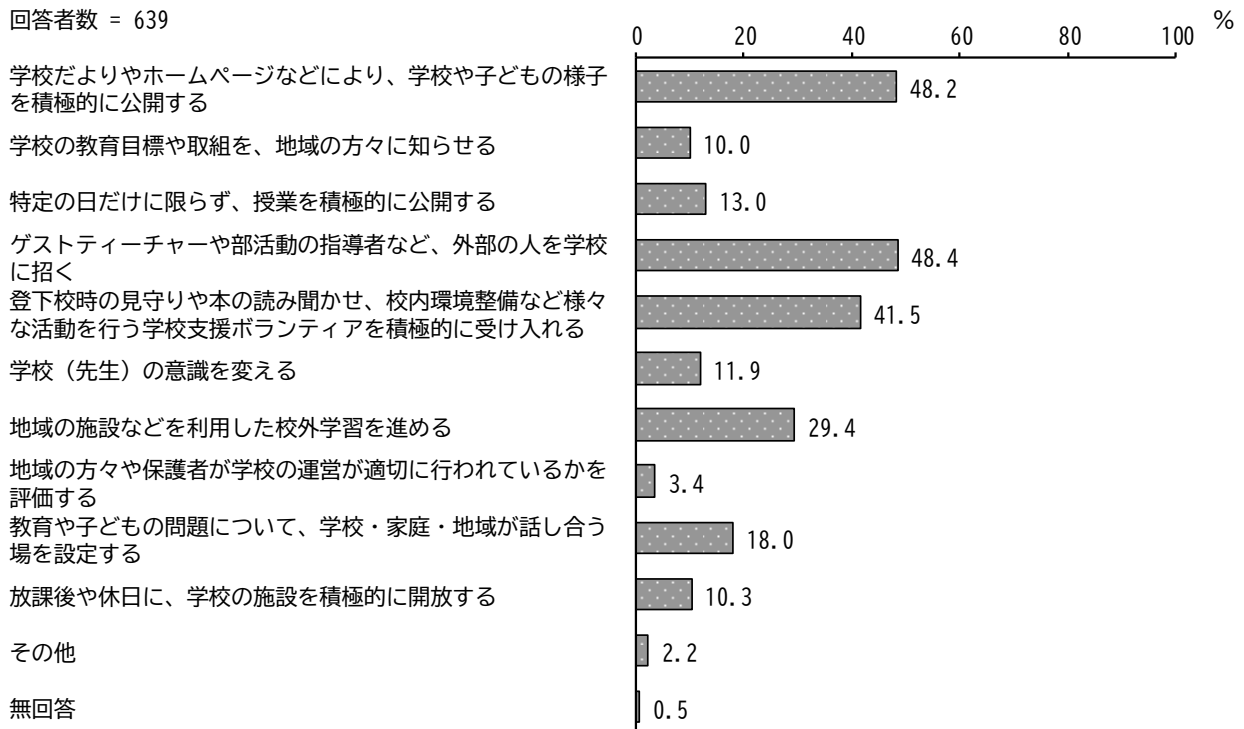
区分	回答者数(件)	リーダーシップのある人	尊敬される人	自分の意見をきちんとと言える人	いろいろなことにチャレンジする人	優しく思いやりのある人	家族や友達を大切に にする人	自分から進んで行動を起こせる人	想像力(創造性)が豊かな人
全 体	639	3.1	1.7	28.5	23.2	52.3	17.4	19.2	6.4
小学校	403	2.5	2.0	29.3	25.1	54.8	19.4	18.1	6.2
中学校	236	4.2	1.3	27.1	19.9	47.9	14.0	21.2	6.8

区分	夢、目標を持っている人	自分の頭で考え、判断し、行動できる人	まわりの人をサポートできる人	相手の立場に立って考えられる人	信頼される人	社会の役に立てる人	その他	無回答
全 体	12.4	54.3	5.0	39.3	10.2	11.9	1.9	1.9
小学校	11.7	57.6	4.5	38.2	8.7	10.7	1.7	1.2
中学校	13.6	48.7	5.9	41.1	12.7	14.0	2.1	3.0

問9 地域に開かれた学校にするために、何が大切だと思いますか。(〇は3つまで)

「ゲストティーチャーや部活動の指導者など、外部の人を学校に招く」の割合が48.4%と最も高く、次いで「学校だよりやホームページなどにより、学校や子どもの様子を積極的に公開する」の割合が48.2%、「登下校時の見守りや本の読み聞かせ、校内環境整備など様々な活動を行う学校支援ボランティアを積極的に受け入れる」の割合が41.5%となっています。

回答者数 = 639



【勤務先別】

勤務先別にみると、「小学校」で「地域の施設などを利用した校外学習を進める」「登下校時の見守りや本の読み聞かせ、校内環境整備など様々な活動を行う学校支援ボランティアを積極的に受け入れる」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	学校だよりやホームページなどにより、学校や子どもの様子を積極的に公開する	学校の教育目標や取組を、地域の方々に知らせる	特定の日だけに限らず、授業を積極的に公開する	ゲストティーチャーや部活動の指導者など、外部の人を学校に招く	登下校時の見守りや本の読み聞かせ、校内環境整備など様々な活動を行う学校支援ボランティアを積極的に受け入れる	学校(先生)の意識を変える
全体	639	48.2	10.0	13.0	48.4	41.5	11.9
小学校	403	45.7	9.4	11.7	48.4	46.9	12.2
中学校	236	52.5	11.0	15.3	48.3	32.2	11.4

区分	地域の施設などを利用した校外学習を進める	地域の方々や保護者が学校の運営が適切に行われているかを評価する	教育や子どもの問題について、学校・家庭・地域が話し合う場を設定する	放課後や休日、学校の施設を積極的に開放する	その他	無回答
全体	29.4	3.4	18.0	10.3	2.2	0.5
小学校	35.2	3.2	18.6	10.7	2.2	0.2
中学校	19.5	3.8	16.9	9.7	2.1	0.8

問 10 コロナ禍による困難を抱えた学校教育の中で、今後、学校現場で何を大切にしてい
くことが必要だと考えますか。また、西東京市教育委員会にどのようなことを期
待しますか。

【主な意見】

- ・ コロナ禍の中でやれることを見つけて取り組むこと
- ・ 教員がやることと外部に頼ることの線引きをしてほしい
- ・ 子どもたちの話に耳を傾ける
- ・ 子どもたちが主体的に考え、協力して課題を解決していけるような授業
- ・ 行事が中止にならず、体験学習の機会を確保すること
- ・ コロナで行わなかった行事などむやみに復活するのではなく、ここでスリム化すべきと考
える

問 11 文部科学省が推進する GIGA スクール構想の中で、1 人 1 台端末の普及が始まっ
ています。子どもにとって、何が必要だと考えますか。

【主な意見】

- ・ タブレット使用上のモラル、ネットの危険を知ること
- ・ 情報モラル教育
- ・ タブレットの中の情報の取捨選択
- ・ 自分にプラスとなるタブレットの活用方法を選択する力
- ・ タブレット端末で活用できるアプリへの制限の緩和
- ・ 調べ学習の中で情報を精査し、活用していく力

問12 「主体的・対話的で深い学び」を実現するために、次のことについて、どの程度実践していますか。(1～10の各項目について、あてはまるものに、それぞれ1つだけ○)

「1 単元や授業の目標を明確にして、児童・生徒に見通しを持たせる」で「できている」と「どちらかというときている」を合わせた“できている”の割合が高くなっています。また、「4 資料と向き合い自分の考えを構築する時間の確保をしている」「8 それぞれの教科等における「見方・考え方」を働かせて学習に取り組ませている」「9 多面的・多角的なもの見方に気付かせる工夫をしている」で「どちらかというときていない」と「できている」を合わせた“できている”の割合が高くなっています。

単位：%

	全体	できている	どちらかというときている	どちらかというときていない	できている	無回答
1 単元や授業の目標を明確にして、児童・生徒に見通しを持たせる	639	44.3	52.0	2.7	-	1.1
2 学習内容等に児童・生徒自らが課題をもって取り組ませる	639	25.0	63.8	9.4	0.2	1.6
3 児童・生徒の思考を促す発問を工夫する	639	30.5	61.2	6.6	0.2	1.6
4 資料と向き合い自分の考えを構築する時間の確保をしている	639	26.4	57.7	11.7	1.9	2.2
5 学習内容や身についたことなどを振り返らせ、次の学びや生活とのつながりを意識させる	639	27.9	61.2	8.9	0.3	1.7
6 評価規準を具体化し、指導との一体化を図っている	639	21.8	64.5	11.0	0.5	2.3
7 自分の考えを基に周りとの交流を通して、自分の考えを深めたり広げたりしている	639	37.4	52.6	7.7	0.5	1.9
8 それぞれの教科等における「見方・考え方」を働かせて学習に取り組ませている	639	22.2	62.8	12.5	0.5	2.0
9 多面的・多角的なもの見方に気付かせる工夫をしている	639	22.1	62.4	13.3	0.3	1.9
10 学習や活動等に最後まで粘り強く取り組ませるよう工夫している	639	31.5	60.4	5.9	0.3	1.9

1 単元や授業の目標を明確にして、児童・生徒に見通しを持たせる

【勤務先別】

勤務先別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	できている	どちらか できている	どちらか できていない	できていない	無回答
全 体	639	44.3	52.0	2.7	—	1.1
小学校	403	41.7	54.6	2.5	—	1.2
中学校	236	48.7	47.5	3.0	—	0.8

2 学習内容等に児童・生徒自らが課題をもって取り組ませる

【勤務先別】

勤務先別にみると、「中学校」で「できている」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	できている	どちらか できている	どちらか できていない	できていない	無回答
全 体	639	25.0	63.8	9.4	0.2	1.6
小学校	403	22.1	65.5	11.2	—	1.2
中学校	236	30.1	61.0	6.4	0.4	2.1

3 児童・生徒の思考を促す発問を工夫する

【勤務先別】

勤務先別にみると、「中学校」で「できている」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	できている	できている どちらかという と	できていない どちらかという と	できていない	無回答
全 体	639	30.5	61.2	6.6	0.2	1.6
小学校	403	27.5	64.5	6.5	0.2	1.2
中学校	236	35.6	55.5	6.8	—	2.1

4 資料と向き合い自分の考えを構築する時間の確保をしている

【勤務先別】

勤務先別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	できている	できている どちらかという と	できていない どちらかという と	できていない	無回答
全 体	639	26.4	57.7	11.7	1.9	2.2
小学校	403	24.1	59.8	12.2	2.2	1.7
中学校	236	30.5	54.2	11.0	1.3	3.0

5 学習内容や身についたことなどを振り返らせ、次の学びや生活とのつながりを意識させる

【勤務先別】

勤務先別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	できている	できている どちらかという と	できていない どちらかという と	できていない	無回答
全 体	639	27.9	61.2	8.9	0.3	1.7
小学校	403	25.6	62.5	9.9	0.5	1.5
中学校	236	31.8	58.9	7.2	—	2.1

6 評価規準を具体化し、指導との一体化を図っている

【勤務先別】

勤務先別にみると、「中学校」で「できている」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	できている	できている どちらかという と	できていない どちらかという と	できていない	無回答
全 体	639	21.8	64.5	11.0	0.5	2.3
小学校	403	18.1	63.8	14.9	0.7	2.5
中学校	236	28.0	65.7	4.2	—	2.1

7 自分の考えを基に周りとの交流を通して、自分の考えを深めたり広げたりしている

【勤務先別】

勤務先別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	できている	どちらか できている	どちらか できていない	できていない	無回答
全 体	639	37.4	52.6	7.7	0.5	1.9
小学校	403	36.5	52.9	8.7	0.2	1.7
中学校	236	39.0	52.1	5.9	0.8	2.1

8 それぞれの教科等における「見方・考え方」を働かせて学習に取り組ませている

【勤務先別】

勤務先別にみると、「中学校」で「できている」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	できている	どちらか できている	どちらか できていない	できていない	無回答
全 体	639	22.2	62.8	12.5	0.5	2.0
小学校	403	17.4	65.3	14.6	0.7	2.0
中学校	236	30.5	58.5	8.9	—	2.1

9 多面的・多角的なものの見方に気付かせる工夫をしている

【勤務先別】

勤務先別にみると、「中学校」で「できている」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	できている	どちらかという できている	どちらかという できていない	できていない	無回答
全 体	639	22.1	62.4	13.3	0.3	1.9
小学校	403	19.1	65.3	13.4	0.5	1.7
中学校	236	27.1	57.6	13.1	—	2.1

10 学習や活動等に最後まで粘り強く取り組ませるよう工夫している

【勤務先別】

勤務先別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数(件)	できている	どちらかという できている	どちらかという できていない	できていない	無回答
全 体	639	31.5	60.4	5.9	0.3	1.9
小学校	403	30.8	62.0	5.5	—	1.7
中学校	236	32.6	57.6	6.8	0.8	2.1

問 13 上記の他に「主体的・対話的で深い学び」を実現するために実践していることや課題と感じていることがありましたらお答えください。

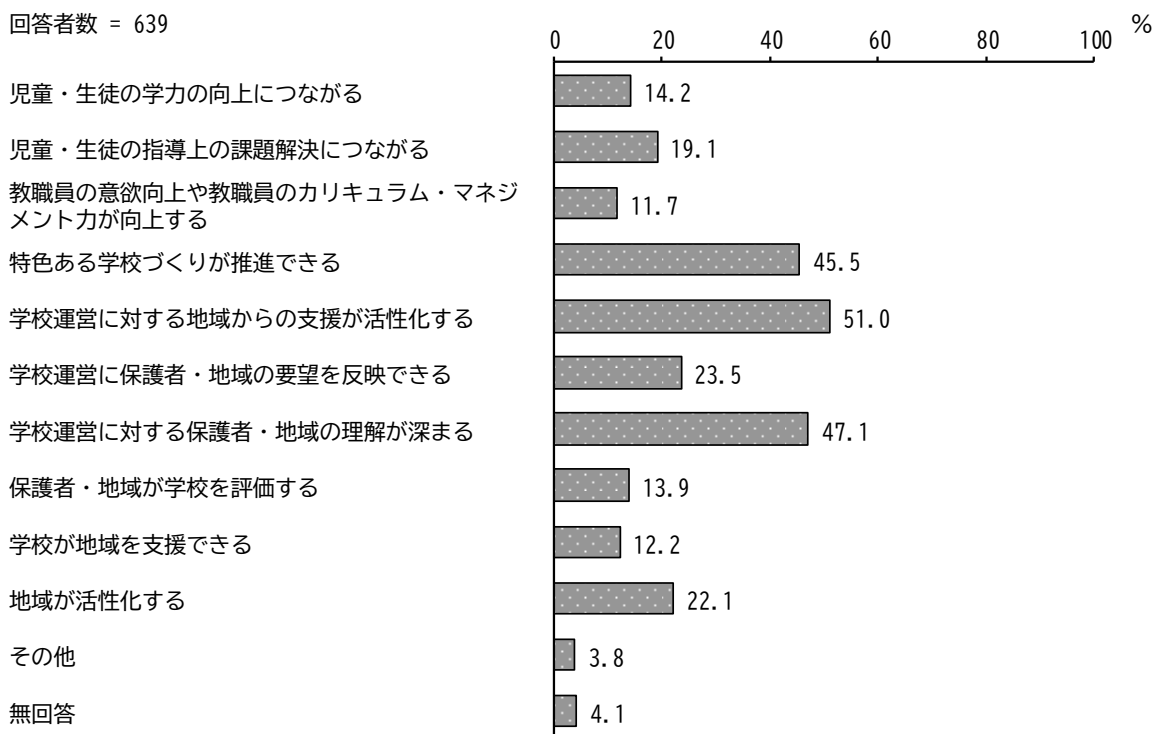
【主な意見】

- ・児童の生活体験や疑問からめあてや学習内容を構築する
- ・児童たち自らが学習に必要感をもって取り組むこと
- ・児童一人ひとり、得意なことや苦手なことがあり、個人差を感じる
- ・コロナ対策をとりながらの対話は少し難しいことがある
- ・学びを深めるためや対話的になるためには、基本的な学力が大切だと考える
- ・主体的というのがやはり難しいと感じている
- ・主体的、対話的な方法を使って深く学ぶにはとても時間がかかる
- ・学習の振り返りにもう少し時間を割きたい

問 14 西東京市では、「コミュニティ・スクール」「地域学校協働活動」の取り組みをはじめ、「社会に開かれた教育課程」の実現に向けた取り組みが進められています。どのような成果があると考えますか。(あてはまるものすべてに○)

「学校運営に対する地域からの支援が活性化する」の割合が 51.0%と最も高く、次いで「学校運営に対する保護者・地域の理解が深まる」の割合が 47.1%、「特色ある学校づくりが推進できる」の割合が 45.5%となっています。

回答者数 = 639



【勤務先別】

勤務先別にみると、「小学校」で「特色ある学校づくりが推進できる」の割合が高くなっています。

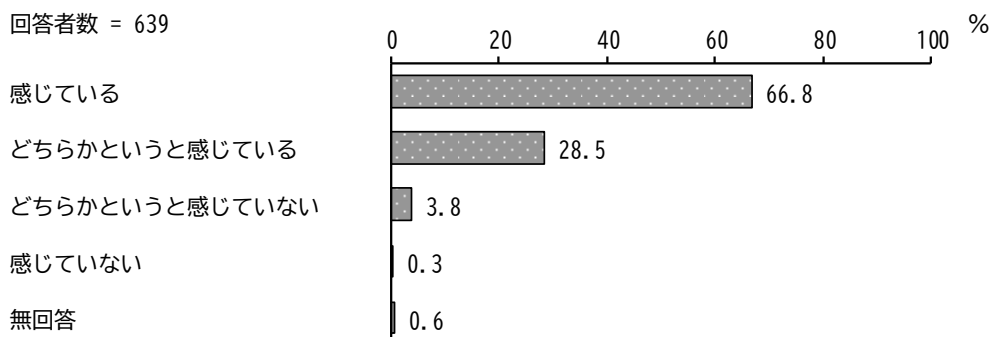
単位：%

区分	回答者数 (件)	児童・生徒の学力の向上につながる	児童・生徒の指導上の課題解決につながる	教職員の意欲向上や教職員のカリキュラム・マネジメント力が向上する	特色ある学校づくりが推進できる	学校運営に対する地域からの支援が活性化する	学校運営に保護者・地域の要望を反映できる	学校運営に対する保護者・地域の理解が深まる	保護者・地域が学校を評価する	学校が地域を支援できる	地域が活性化する	その他	無回答
全体	639	14.2	19.1	11.7	45.5	51.0	23.5	47.1	13.9	12.2	22.1	3.8	4.1
小学校	403	16.4	19.4	12.2	51.4	51.9	21.6	48.9	12.7	12.2	25.1	4.0	3.5
中学校	236	10.6	18.6	11.0	35.6	49.6	26.7	44.1	16.1	12.3	16.9	3.4	5.1

(3) 職場環境について

問 15 あなたはご自身の職務について忙しいと感じていますか。(○は1つ)

「感じている」の割合が 66.8%と最も高く、次いで「どちらかというと感じている」の割合が 28.5%となっています。



【勤務先別】

勤務先別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	感じている	どちらかというと感じている	どちらかというと感じていない	感じていない	無回答
全 体	639	66.8	28.5	3.8	0.3	0.6
小学校	403	66.3	29.0	4.2	—	0.5
中学校	236	67.8	27.5	3.0	0.8	0.8

【経験年数別】

経験年数別にみると、30年以上で「どちらかというと感じている」の割合が高くなっています。

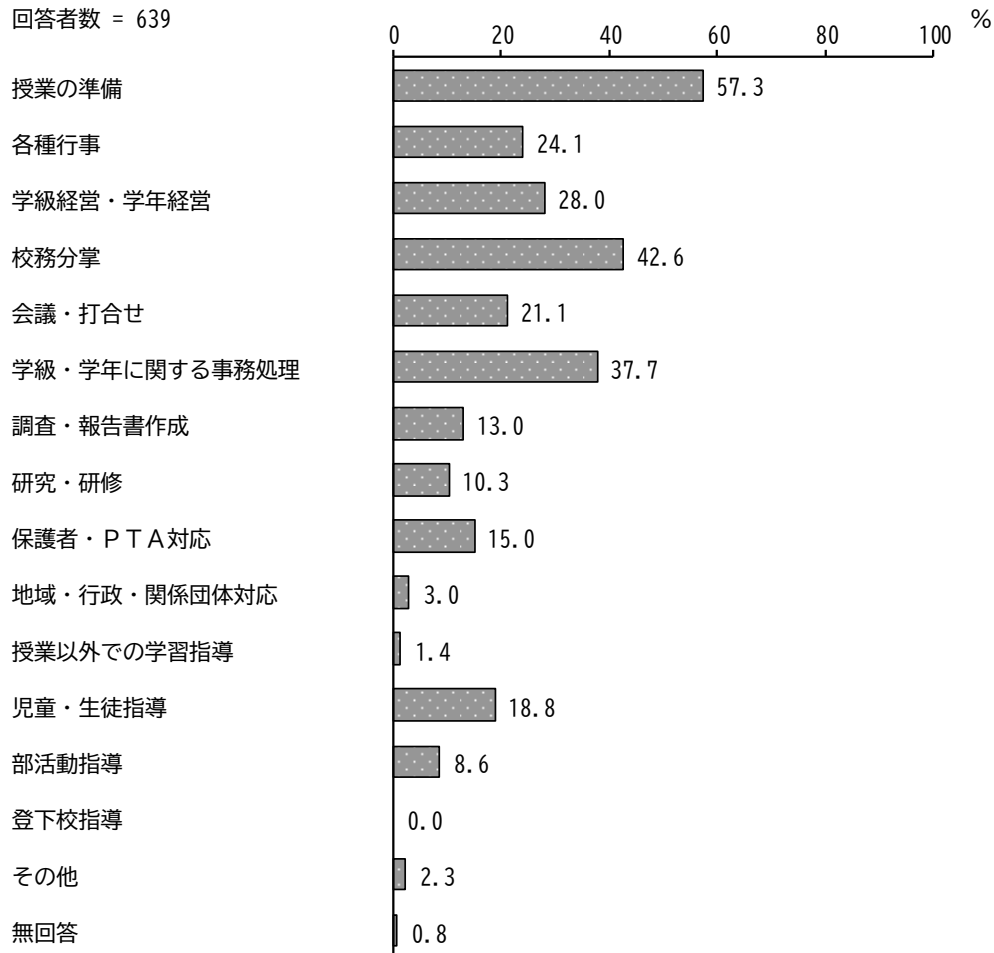
単位：%

区分	回答者数 (件)	感じている	どちらかというと感じている	どちらかというと感じていない	感じていない	無回答
全 体	639	66.8	28.5	3.8	0.3	0.6
4年以下	151	64.2	29.8	4.6	—	1.3
5～9年	125	69.6	26.4	4.0	—	—
10～19年	193	70.5	24.4	4.7	0.5	—
20～29年	83	66.3	28.9	3.6	1.2	—
30年以上	86	60.5	37.2	—	—	2.3

問16 仕事をするうえで、あなたが、①時間をかけている業務、②負担感を感じている業務は、どのような業務ですか。(それぞれ主なものを3つまで番号を記入※①と②で同じ番号を選択しても可)

①時間をかけている業務

「授業の準備」の割合が57.3%と最も高く、次いで「校務分掌」の割合が42.6%、「学級・学年に関する事務処理」の割合が37.7%となっています。



【勤務先別】

勤務先別にみると、「小学校」で「校務分掌」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	授業の準備	各種行事	学級経営・学年経営	校務分掌	会議・打合せ	学級・学年に関する事務処理	調査・報告書作成	研究・研修	保護者・PTA対応	地域・行政・関係団体対応	授業以外での学習指導	児童・生徒指導	部活動指導	登下校指導	その他	無回答
全体	639	57.3	24.1	28.0	42.6	21.1	37.7	13.0	10.3	15.0	3.0	1.4	18.8	8.6	—	2.3	0.8
小学校	403	57.3	21.3	29.5	48.9	23.6	38.2	13.2	10.2	18.6	3.0	2.0	16.6	0.2	—	3.0	0.7
中学校	236	57.2	28.8	25.4	31.8	16.9	36.9	12.7	10.6	8.9	3.0	0.4	22.5	22.9	—	1.3	0.8

【経験年数別】

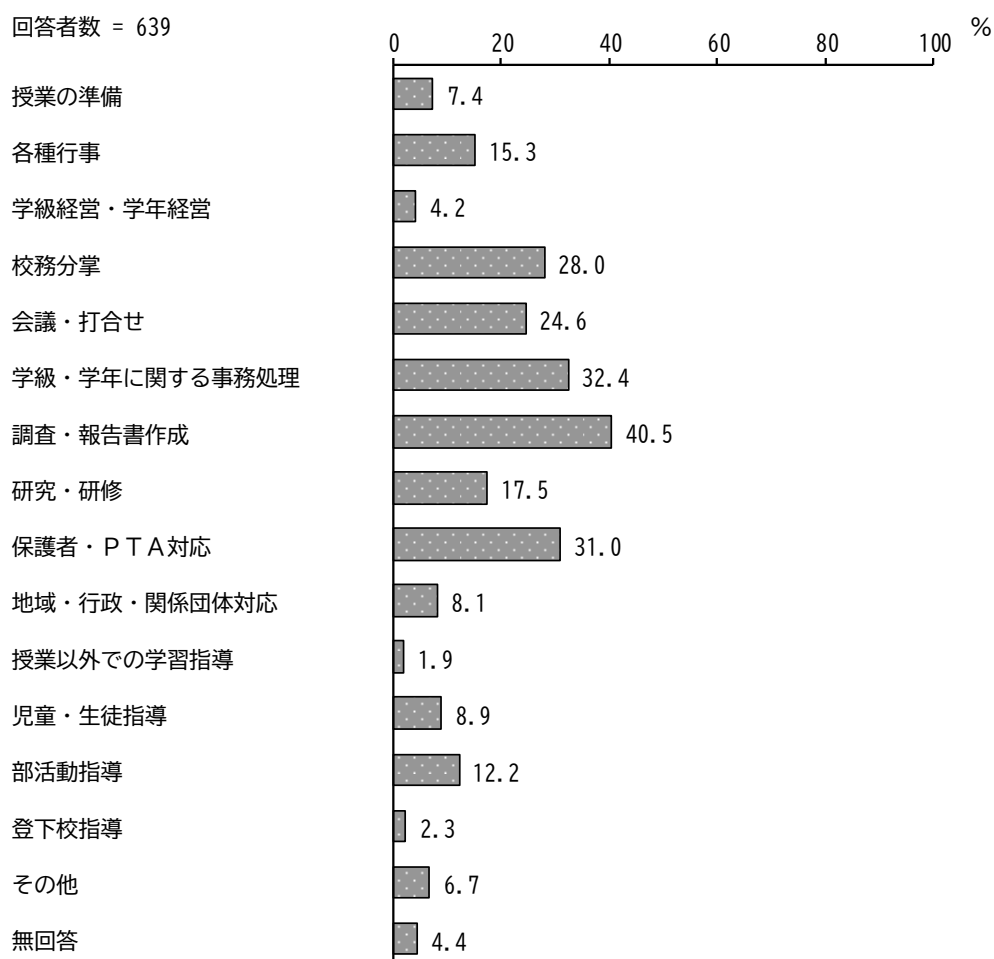
経験年数別にみると、「20～29年」で「調査・報告書作成」「会議・打合せ」の割合が、4年以下で「授業の準備」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	授業の準備	各種行事	学級経営・学年経営	校務分掌	会議・打合せ	学級・学年に関する事務処理	調査・報告書作成	研究・研修	保護者・PTA対応	地域・行政・関係団体対応	授業以外での学習指導	児童・生徒指導	部活動指導	登下校指導	その他	無回答
全体	639	57.3	24.1	28.0	42.6	21.1	37.7	13.0	10.3	15.0	3.0	1.4	18.8	8.6	—	2.3	0.8
4年以下	151	68.9	17.2	26.5	41.1	16.6	40.4	7.9	13.2	11.3	—	1.3	17.9	15.2	—	2.0	0.7
5～9年	125	55.2	29.6	29.6	44.8	16.8	37.6	9.6	11.2	11.2	—	4.0	21.6	9.6	—	1.6	1.6
10～19年	193	56.0	31.6	30.6	46.6	20.7	37.8	11.9	11.4	15.0	1.6	0.5	18.1	6.7	—	1.6	—
20～29年	83	43.4	18.1	24.1	41.0	33.7	37.3	28.9	3.6	21.7	10.8	—	16.9	2.4	—	2.4	1.2
30年以上	86	55.8	16.3	26.7	34.9	24.4	32.6	14.0	8.1	20.9	8.1	1.2	19.8	5.8	—	5.8	1.2

②負担感を感じている業務

「調査・報告書作成」の割合が40.5%と最も高く、次いで「学級・学年に関する事務処理」の割合が32.4%、「保護者・PTA対応」の割合が31.0%となっています。



【勤務先別】

勤務先別にみると、「中学校」で「部活動指導」「研究・研修」の割合が、「小学校」で「保護者・PTA対応」の割合が高くなっています。

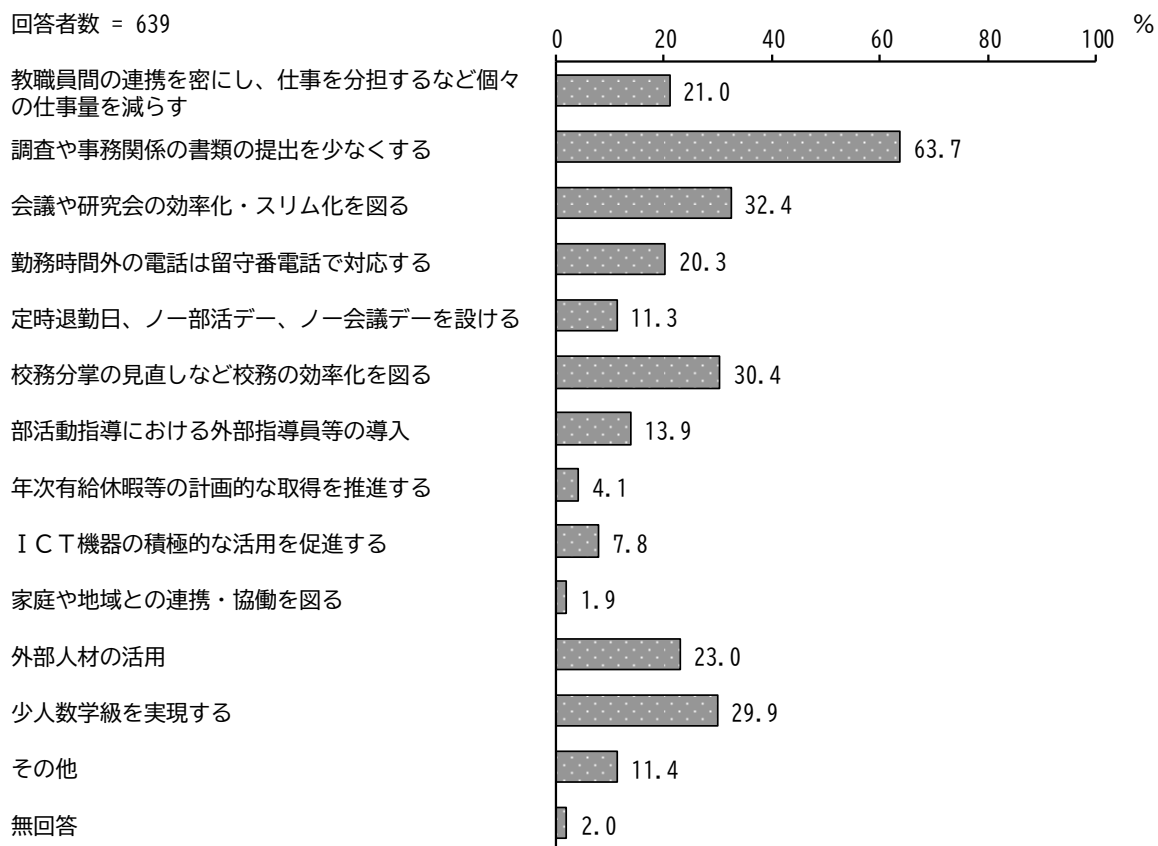
単位：%

区分	回答者数(件)	授業の準備	各種行事	学級経営・学年経営	校務分掌	会議・打合せ	学級・学年に関する事務処理	調査・報告書作成	研究・研修	保護者・PTA対応	地域・行政・関係団体対応	授業以外での学習指導	児童・生徒指導	部活動指導	登下校指導	その他	無回答
全体	639	7.4	15.3	4.2	28.0	24.6	32.4	40.5	17.5	31.0	8.1	1.9	8.9	12.2	2.3	6.7	4.4
小学校	403	7.7	15.6	4.7	32.3	26.6	34.5	40.7	13.2	36.2	7.7	2.5	11.2	0.5	2.7	7.9	4.5
中学校	236	6.8	14.8	3.4	20.8	21.2	28.8	40.3	25.0	22.0	8.9	0.8	5.1	32.2	1.7	4.7	4.2

問 17 多忙を解消するために必要なことは何だと思えますか。(〇は3つまで)

「調査や事務関係の書類の提出を少なくする」の割合が 63.7%と最も高く、次いで「会議や研究会の効率化・スリム化を図る」の割合が 32.4%、「校務分掌の見直しなど校務の効率化を図る」の割合が 30.4%となっています。

回答者数 = 639



【勤務先別】

勤務先別にみると、「中学校」で「部活動指導における外部指導員等の導入」の割合が、「小学校」で「少人数学級を実現する」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	教職員間の連携を密にし、仕事を分担するなど個々の仕事量を減らす	調査や事務関係の書類の提出を少なくする	会議や研究会の効率化・スリム化を図る	勤務時間外の電話は留守番電話で対応する	定時退勤日、ノー部活デー、ノー会議デーを設ける	校務分掌の見直しなど校務の効率化を図る	部活動指導における外部指導員等の導入	年次有給休暇等の計画的な取得を推進する	ICT機器の積極的な活用を促進する	家庭や地域との連携・協働を図る	外部人材の活用	少人数学級を実現する	その他	無回答
全体	639	21.0	63.7	32.4	20.3	11.3	30.4	13.9	4.1	7.8	1.9	23.0	29.9	11.4	2.0
小学校	403	19.6	66.3	34.7	21.1	9.4	34.7	0.5	3.7	8.7	2.2	25.8	37.5	9.2	1.5
中学校	236	23.3	59.3	28.4	19.1	14.4	22.9	36.9	4.7	6.4	1.3	18.2	16.9	15.3	3.0

【職種別】

職種別にみると、「管理職」で「外部人材の活用」「調査や事務関係の書類の提出を少なくする」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	教職員間の連携を密にし、仕事を分担するなど個々の仕事量を減らす	調査や事務関係の書類の提出を少なくする	会議や研究会の効率化・スリム化を図る	勤務時間外の電話は留守番電話で対応する	定時退勤日、ノー部活デー、ノー会議デーを設ける	校務分掌の見直しなど校務の効率化を図る	部活動指導における外部指導員等の導入	年次有給休暇等の計画的な取得を推進する	ICT機器の積極的な活用を促進する	家庭や地域との連携・協働を図る	外部人材の活用	少人数学級を実現する	その他	無回答
全体	639	21.0	63.7	32.4	20.3	11.3	30.4	13.9	4.1	7.8	1.9	23.0	29.9	11.4	2.0
管理職	44	20.5	70.5	31.8	9.1	13.6	31.8	6.8	4.5	9.1	6.8	38.6	25.0	11.4	—
教員(管理職以外)	595	21.0	63.2	32.4	21.2	11.1	30.3	14.5	4.0	7.7	1.5	21.8	30.3	11.4	2.2

西東京市の教育に関して、望まれることや具体的な提案・感想がございましたら、ご記入ください。

【主な意見】

- ・学校がやりやすいように各校から意見をもっと聞いてほしい。
- ・事務作業を手伝ってくださる仕組みがあって有り難い。
- ・指導主事をはじめ多忙でまわっていないのではと感じる。
- ・スピーキングテストの登録をタブレットでできるようにしてほしい。
- ・部活は地域や外部から人材を登用してほしい。

西東京市教育委員会 教員用アンケート調査

日頃から西東京市の児童・生徒の教育にご尽力いただきありがとうございます。

この度、西東京市教育委員会では、次期「西東京市教育計画（計画期間：令和6年度～令和10年度）」の策定にあたり、教育に関する皆様のご意見等をお聞かせいただきたく、教職員の皆様を対象にアンケート調査を実施することといたしました。

アンケートの結果は、今後の教育施策のための基礎資料として活用させていただきますので、お忙しいところ恐縮ですが、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、ご回答いただきました内容はすべて統計学的に処理しますので、個人が特定されることや、アンケート集計の他に使用することは一切ございません。

令和4年12月
西東京市教育委員会

◇調査票の回収について

1 アンケート用紙に関する回答

御記入いただきました調査票は、令和5年1月11日（水）まで学校単位でとりまとめていただき、令和5年1月11日（水）に交換便にて御返送ください。

2 インターネットによる回答

本調査はインターネットで御回答いただけます。インターネットを使った回答については、令和4年12月12日から令和5年1月11日（水）までで御回答ください。インターネットにて御回答いただいた場合にはアンケート用紙は御提出いただく必要はございません。ただし、個人のスマートフォンなどの環境から御回答いただく場合、通信料は自己負担になりますので御了承ください。インターネットによる回答は、以下のURLにアクセスするか、以下のQRコードから回答ください。

URL : <https://questant.jp/q/QBAVRPQE>

ID : ●●●●●●



◇調査についてのご質問などは、下記までお問合せください。

【西東京市教育委員会 教育部教育企画課 企画調整係】

電話 042-420-2822 FAX 042-420-2891

問6 今後、西東京市の公立学校教育で特に重点をおいて取り組む必要があるものは、どれですか。(○は3つまで)

- | | |
|----------------------|---------------------------|
| 1 少人数学級 | 11 小中一貫教育 |
| 2 民間人の校長登用 | 12 P T A活動の活性化 |
| 3 小学校における教科担任制 | 13 地域に開かれた学校活動(公開授業など) |
| 4 教職員の能力の向上 | 14 学校運営協議会など開かれた学校運営 |
| 5 外部講師の活用 | 15 学校運営協議会による学校評価 |
| 6 基礎学力習得のための補習 | 16 老朽校舎の建替えや改修 |
| 7 夜間塾など高度な学力養成 | 17 GIGA スクール・教育の情報化(教育DX) |
| 8 一人ひとりに応じた特別支援教育の充実 | 18 その他() |
| 9 安全や防災教育の充実 | |
| 10 二学期制 | |

問7 西東京市の学校教育で子どもに教えることとして、重要だと思うことは何ですか。(○は3つまで)

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1 思いやりの心や、善悪の判断など、道徳心 | 11 外国語を聞いたり、話したりする力 |
| 2 人間関係を築く力 | 12 豊かな心や情操 |
| 3 自ら学び、考え、主体的に行動する力 | 13 社会に役立つとうとする心や公共心 |
| 4 社会生活に必要な常識やマナー | 14 コンピュータを活用する力や情報モラル |
| 5 教科の基礎的な学力 | 15 環境やエネルギーを大切にする意識 |
| 6 物事をやり遂げる粘り強さ | 16 安全や防災に関する意識 |
| 7 生き方や進路について考える力 | 17 その他() |
| 8 健康や安全を自己管理する力 | |
| 9 表現力やコミュニケーション力 | |
| 10 基本的な生活習慣や食習慣 | |

問8 西東京市の子どもたちに、将来どのような人になってもらいたいと思いますか。(○は3つまで)

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1 リーダーシップのある人 | 9 夢、目標を持っている人 |
| 2 尊敬される人 | 10 自分の頭で考え、判断し、行動できる人 |
| 3 自分の意見をきちんと言える人 | 11 まわりの人をサポートできる人 |
| 4 いろいろなことにチャレンジする人 | 12 相手の立場に立って考えられる人 |
| 5 優しく思いやりのある人 | 13 信頼される人 |
| 6 家族や友達を大切にする人 | 14 社会の役に立てる人 |
| 7 自分から進んで行動を起こせる人 | 15 その他() |
| 8 想像力(創造性)が豊かな人 | |

問9 地域に開かれた学校にするために、何が大切だと思いますか。(〇は3つまで)

- 1 学校だよりやホームページなどにより、学校や子どもの様子を積極的に公開する
- 2 学校の教育目標や取組を、地域の方々に知らせる
- 3 特定の日だけに限らず、授業を積極的に公開する
- 4 ゲストティーチャーや部活動の指導者など、外部の人を学校に招く
- 5 登下校時の見守りや本の読み聞かせ、校内環境整備など様々な活動を行う学校支援ボランティアを積極的に受け入れる
- 6 学校(先生)の意識を変える
- 7 地域の施設などを利用した校外学習を進める
- 8 地域の方々や保護者が学校の運営が適切に行われているかを評価する
- 9 教育や子どもの問題について、学校・家庭・地域が話し合う場を設定する
- 10 放課後や休日に、学校の施設を積極的に開放する
- 11 その他()

問10 コロナ禍による困難を抱えた学校教育の中で、今後、学校現場で何を大切にしていけることが必要だと考えますか。また、西東京市教育委員会にどのようなことを期待しますか。

問11 文部科学省が推進するGIGAスクール構想の中で、1人1台端末の普及が始まっています。子どもにとって、何が必要だと考えますか。

問 12 「主体的・対話的で深い学び」を実現するために、次のことについて、どの程度実践していますか。(1～10の各項目について、あてはまるものに、それぞれ1つだけ○)

項 目	できている	どちらかとい とできている	どちらかとい とできていない	できて いない
1 単元や授業の目標を明確にして、児童・生徒に見通しを持たせる	1	2	3	4
2 学習内容等に児童・生徒自らが課題をもって取り組ませる	1	2	3	4
3 児童・生徒の思考を促す発問を工夫する	1	2	3	4
4 資料と向き合い自分の考えを構築する時間の確保をしている	1	2	3	4
5 学習内容や身についたことなどを振り返らせ、次の学びや生活とのつながりを意識させる	1	2	3	4
6 評価規準を具体化し、指導との一体化を図っている	1	2	3	4
7 自分の考えを基に周りとの交流を通して、自分の考えを深めたり広げたりしている	1	2	3	4
8 それぞれの教科等における「見方・考え方」を働かせて学習に取り組ませている	1	2	3	4
9 多面的・多角的なものの見方に気付かせる工夫をしている	1	2	3	4
10 学習や活動等に最後まで粘り強く取り組ませるよう工夫している	1	2	3	4

問 13 上記の他に「主体的・対話的で深い学び」を実現するために実践していることや課題と感じていることがありましたらお答えください。

問 14 西東京市では、「コミュニティ・スクール」「地域学校協働活動」の取り組みをはじめ、「社会に開かれた教育課程」の実現に向けた取り組みが進められています。どのような成果があると考えますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 児童・生徒の学力の向上につながる
- 2 児童・生徒の指導上の課題解決につながる
- 3 教職員の意欲向上や教職員のカリキュラム・マネジメント力が向上する
- 4 特色ある学校づくりが推進できる
- 5 学校運営に対する地域からの支援が活性化する
- 6 学校運営に保護者・地域の要望を反映できる
- 7 学校運営に対する保護者・地域の理解が深まる
- 8 保護者・地域が学校を評価する
- 9 学校が地域を支援できる
- 10 地域が活性化する
- 11 その他 ()

職場環境についておたずねします。

問 15 あなたはご自身の職務について忙しいと感じていますか。(○は1つ)

- 1 感じている
- 2 どちらかというと感じている
- 3 どちらかというと感じていない
- 4 感じていない

問 16 仕事をするうえで、あなたが、①時間をかけている業務、②負担感を感じている業務は、どのような業務ですか。(それぞれ主なもの3つまで番号を記入※①と②で同じ番号を選択しても可)

①時間をかけている業務

②負担感を感じている業務

- | | |
|--|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1 授業の準備 2 各種行事 3 学級経営・学年経営 4 校務分掌 5 会議・打合せ 6 学級・学年に関する事務処理 7 調査・報告書作成 8 研究・研修 | <ol style="list-style-type: none"> 9 保護者・PTA対応 10 地域・行政・関係団体対応 11 授業以外での学習指導 12 児童・生徒指導 13 部活動指導 14 登下校指導 15 その他 () |
|--|---|

問 17 多忙を解消するために必要なことは何だと思えますか。(〇は3つまで)

- 1 教職員間の連携を密にし、仕事を分担するなど個々の仕事量を減らす
- 2 調査や事務関係の書類の提出を少なくする
- 3 会議や研究会の効率化・スリム化を図る
- 4 勤務時間外の電話は留守番電話で対応する
- 5 定時退勤日、ノー部活デー、ノー会議デーを設ける
- 6 校務分掌の見直しなど校務の効率化を図る
- 7 部活動指導における外部指導員等の導入
- 8 年次有給休暇等の計画的な取得を推進する
- 9 ICT機器の積極的な活用を促進する
- 10 家庭や地域との連携・協働を図る
- 11 外部人材の活用
- 12 少人数学級を実現する
- 13 その他 ()

西東京市の教育に関して、望まれることや具体的な提案・感想がございましたら、ご記入ください。

以上でアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

教員アンケート調査報告書

発行日 令和5年3月

発行 西東京市教育委員会 教育部教育企画課
西東京市南町五丁目6番13号（田無第二庁舎3階）

電話 042-420-2822（直通）